2　地理歴史・公民

学校番号	１００９

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ（後期）	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	詳説日本史Ｂ　（山川出版社）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じ、現在の日本にいたるまでを理解する。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・２年後期では、中世・近世を中心に学ぶ。（原始・古代・中世は２年前期）また、２年後期の主題学習では、冬期休暇期間も利用しつつアクティブラーニング形式で現代史を扱う。（近代史は２年前期）
・受験科目で日本史Ｂを選択する者や日本史の理解を深めたい者は、３年前期の「近現代日本史」を履修すること。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や日本の文化と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート 探求調査発表	〔主題学習〕 レポート 探求調査発表	〔主題学習〕 レポート 探求調査発表	〔主題学習〕 内容のまとまり ワークシート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期中間考査まで	武家社会の成長	1.室町幕府の成立 2.幕府の衰退と庶民の台頭 3.室町文化 4.戦国大名の登場	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	a:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、日本の諸地域の動向、東アジア世界との交流、庶民の台頭と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	幕藩体制の確立	1.織豊政権 2.桃山文化 3.幕藩体制の成立 4.幕藩体制の構造	 ○	○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化に対して関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化から課題を見いだし、ヨーロッパ諸勢力との接触と鎖国による対外関係と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 c:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化に関する文献、絵画、地図の諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:織豊政権から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化についての基本的な事柄をヨーロッパ諸勢力との接触と鎖国による対外関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート

12月・冬期休暇期間・1月	日本の現代史(主題学習)	①占領下の日本 1.占領と改革 2.冷戦の開始と講和 ②高度成長の時代 1.55年体制 2.経済復興から高度成長へ ③激動する世界と日本 1.経済大国への道 2.冷戦の終結と日本社会の動揺	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、自分自身で課題の発見・設定ができている。また、日本の現代史への関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的多角的に考察している。また、他人にわかりやすく伝わることを意識した、レポート作成・探求調査発表を行えている。 c:戦後日本の歩みと世界情勢の推移に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けている。また、その追究し考察した結果を適切にレポート・探求調査発表に表現している。 d:戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。また、その知識をワークシートや振り返りシートでアウトプットできている。	ワークシート レポート 探求調査発表 振り返りシート

※以上の主題学習を、左の期間で行う。
（補充授業期間・夏期休暇期間に実施。）

冬期休暇を含めた探求調査を行った後は、授業においてレポート発表を行い、議論を深める。

後期期末考査まで	幕藩体制の展開	1.幕政の安定 2.経済の発展 3.元禄文化	○	○ ○	○ ○	○	a:文治政治への転換、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:文治政治への転換、町人文化の形成の特質から課題を見いだし、多面的・多角的に考察している。 c:文治政治への転換、町人文化の形成の特質に関する文献、絵画、統計・グラフなどの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:文治政治への転換、町人文化の形成の特質についての基本的な事柄を社会の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	幕藩体制の動揺	1.幕政の改革 2.宝暦・天明期の文化 3.幕府の衰退と近代への道 4.化政文化	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:幕政改革の断行、町人文化の形成の特質から課題を見いだし、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 c:幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する文献、絵画、統計・グラフなどの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d:幕政改革の断行、町人文化の形成の特質についての基本的な事柄を欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート レポート 調べ学習発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。